



安心してお産ができる地域へ

秩父地域の

産科医療

昨年は年間500件以上の普通分娩ふんべんに対応、
里帰り出産も受け入れが可能になりました！

秩父地域の産科医療は、平成24年2月に産婦人科診療所が3施設から2施設となり、平成25年1月からは現在の1施設となりました。

こうした状況に対処するため、市長自ら埼玉医科大学、山王病院、日本医科大学、愛育病院などに出向き、秩父への派遣や就業を複数の秩父出身の産科医師へ交渉しましたが、希望医師が見つからず、また全国的に見ても産科医師・産科医療スタッフが不足した状況が続いており、秩父地域でも産科医療は大変厳しい状況にあります。

現在、秩父地域では、妊産婦を受け入れて産婦人科診療所をはじめ、秩父郡市医師会や埼玉医科大学関連病院、近郊の産科医療機関等のご支援・ご協力と、秩父圏域（1市4町）で構成する「ちちぶ定住自立圏事業」、ちちぶ医療協議会の事業支援等で秩父地域での産科医療の維持に努めています。

これにより、秩父地域内の産婦人科診療所では、昨年522件の

普通分娩の受け入れがあり、そのうち、圏域外住所者76件も空き状況により受け入れを行っていたಿದೆいます。

また、市民の皆さんから親戚や知人等の産科医師情報を提供いただいたことで、関係者と会談することもできました。

引き続き、情報がございましたら提供いただきまますようお願いいたします。

秩父地域の産科医療や救急医療等、大変厳しい状況ではありますが、市民の皆さんのご協力をいただき、これからも「あきらめず粘り強く」取り組んでまいります。

問 地域医療対策課 ☎ 22-2279



●今までの経過

とき	状 況
平成25年1月	秩父郡市内の産婦人科診療所が2診療所から1診療所になる。埼玉医科大学総合医療センターから市内産婦人科診療所に週1回、当直日勤の産科医師派遣を開始。
平成25年4月	埼玉医科大学病院から週1回、埼玉医科大学総合医療センターから週2回、市内産婦人科診療所への当直日勤の産科医師派遣を強化。
平成25年7月	市内産婦人科診療所が12床から15床に増床し、妊産婦受け入れの充実を図る。

●久喜市長の動き

とき	状 況
平成24年4月～平成25年3月	久喜市長が、埼玉医科大学理事長、山王病院院長、日本医科大学産婦人科主任教授とそれぞれ会談。
平成25年4月～平成26年3月	久喜市長が愛育病院副院長兼産婦人科部長、都立墨東病院産婦人科医長、自治医科大学附属さいたま医療センターセンター長・同周産期母子医療センター長、埼玉医科大学理事長とそれぞれ会談。
平成26年4月～現在	久喜市長が埼玉医科大学名誉理事長（5回）・理事長（2回）と会談。

ご寄附ありがとうございました

次の方々から、社会福祉のために寄附をいただきました。温かな善意に感謝し、ご紹介します。（平成29年1月）

- ▶ 1月16日、宗福寺様から、20,000円
- ▶ 1月24日、宮地子供歌舞伎様（岸野光男代表）から、23,352円

東日本大震災義援金・平成28年熊本地震災害義援金

東日本大震災義援金および平成28年熊本地震災害義援金へ多くの温かいご支援をお寄せいただきありがとうございます。

- 東日本大震災義援金（2月22日現在） 52,090,590円
- 平成28年熊本地震災害義援金（2月22日現在） 2,520,798円

お預かりした義援金は、日本赤十字社埼玉県支部へ送金し、義援金配分委員会を通じて全額被災された方々のもとへ届けられます。義援金をお寄せいただきました個人・団体の皆さまに、心から御礼申し上げます。

※熊本地震災害義援金の受付期間は平成30年3月31日まで延長されました。

問 社会福祉課 ☎ 25-5204



ポテくまのテーマソング「ポテくまマーチ」発売中！

市役所総合窓口、吉田・大滝・荒川総合支所でCD1枚500円にて販売